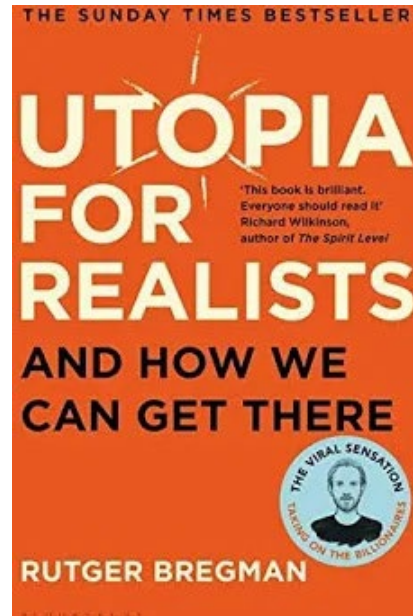


第2分科会（地方創生とDX） 2022年の活動のまとめと展望



名古屋大学・明治学院大学
名誉教授 加賀山 茂



1. 2022年のまとめ

- 2022年基調報告のリスト
- 基調報告に刺戟を受けて読んだ本
- 驚きの高等学校必修科目「情報Ⅰ」



法と経営学会 第2分科会「地方創生とDX」 2022年基調報告リスト

- ○ 2月5日 第10回会議 前川 誠
 - 地方創生はDX×英語から—ネットの向こうには、英語で書かれた膨大な情報が眠っている
- ○ 3月5日 第11回会議 前川 誠
 - 地方創生はDX×英語から—Part II ネットの向こうには、英語で書かれた膨大な情報が眠っている
- ○ 4月2日 第12回会議 加賀山 茂
 - 地方創生とDXは、高校教育のDXから
- ○ 5月7日 第13回会議 柴田敏郎
 - 中小企業のためのカーボンニュートラル (CN) 経営
- ○ 6月4日 第14回会議 加賀山 茂
 - 改正個人情報保護法の概要と課題
- ○ 7月2日 第15回会議 渡辺靖明
 - 脱刑法 (罰則) は地方から?—「情報に関する法律の罰則一覧」を素材に
- ○ 9月3日 第16回会議 鶴田 知佳子
 - Handling English for the 2020 Tokyo Olympics
- ○ 10月1日 第17回会議 加賀山 茂
 - デジタル社会の法整備 相次ぐ法律の大改正の概要
- ○ 11月5日 第18回会議 櫻井 成一郎
 - 高等学校の「情報I」教育と地方創成・DX



基調報告に刺戟を受けて読んだ本

■ 英語学習

- 今井むつみ『英語独習法』岩波新書(2020)

■ カーボンニュートラル

- 今村 雅人『図解入最新水素エネルギーの仕組みと動向がよーくわかる本』秀和システム(2020)
- 西宮伸幸『[カーボンニュートラル]水素社会入門』河出書房新社(2021/9/20)

■ 情報教育

- 武田雅人=高橋友範『はじめてのGoogleフォームの教科書2020』Independently published(2021/11/13)
- 松下孝太郎=山本光『スクラッチプログラミング事例大全集』技術評論社(2020/9/16)



驚きの高等学校必修科目「情報 I」

■ 新編「情報 I」東京書籍(2022)

■ 目次

- 第1章 情報で問題を解決する
- 第2章 情報を伝える
- 第3章 コンピュータを活用する
- 第4章 データを活用する
- 第5章 活動して提案する
- 巻末
 - ソフトウェアの操作方法, 問題解決のツール, ...
 - いろいろな法律(著作権法, 個人情報保護法, 不正アクセス禁止法, プロバイダ責任制限法)
 - ファイル形式の種類と特徴, Webページの構造
 - ふりがなプログラミング手帳




ふりがなプログラミング

```
1 変数a 代入しろ 整数化しろ 入力させる 文字列「INPUT 1or2:」  
a = int(input('INPUT 1or2:'))  
2  もしも 変数a 等しい 数値1 真なら以下を実行せよ  
if a == 1 :  
3     表示しろ 文字列「Hello.」  
    print('Hello.')4  そうではなく 変数a 等しい 数値2 真なら以下を実行せよ  
elif a == 2 :  
5     表示しろ 文字列「Hi!」  
    print('Hi!')6  そうでなければ以下を実行せよ  
else:  
7     表示しろ 文字列「Another」  
    print('Another')
```

▼ 実行結果

```
INPUT 1or2:2  
Hi!
```



The Scratch script starts with a 'when green flag clicked' block. It then has an 'input' block asking for '1' or '2'. A 'when green flag clicked' block is followed by an 'if' block. The 'if' block has two 'when green flag clicked' blocks. The first 'when green flag clicked' block is 'if answer = 1', followed by a 'say Hello! for 2 secs' block. The second 'when green flag clicked' block is 'if answer = 2', followed by a 'say Hi! for 2 secs' block. Finally, there is a 'say Have a nice day. Bye! for 2 secs' block.



ふりがなの新しい活用法

■ 従来のふりがな

■ 例

■ しゃんはい

上海

■ 新しいふりがな(案)

■ 例

■ Shanghai(英語)

上海

Shàng hǎi(中国語)

■ 従来のふりがな

■ 例

■ か が やま しげる

加賀山 茂

■ 新しいふりがな(案)

■ 例

■ KA GA YAMA Shigeru

加賀山 茂

Jiā hè shān mào



2. 日本の三大弱点と その解決のためのDX



日本の三大弱点(1/3)

■(1)労働生産性の低さ

OECD諸国の中で最低(6,930円/時間)

- 1) ペーパーレス化の遅れ(仕事が遅い)
- 2) RPAの導入の遅れ(効率化できない)
- 3) 長時間労働廃止の遅れ(時間管理の不徹底)

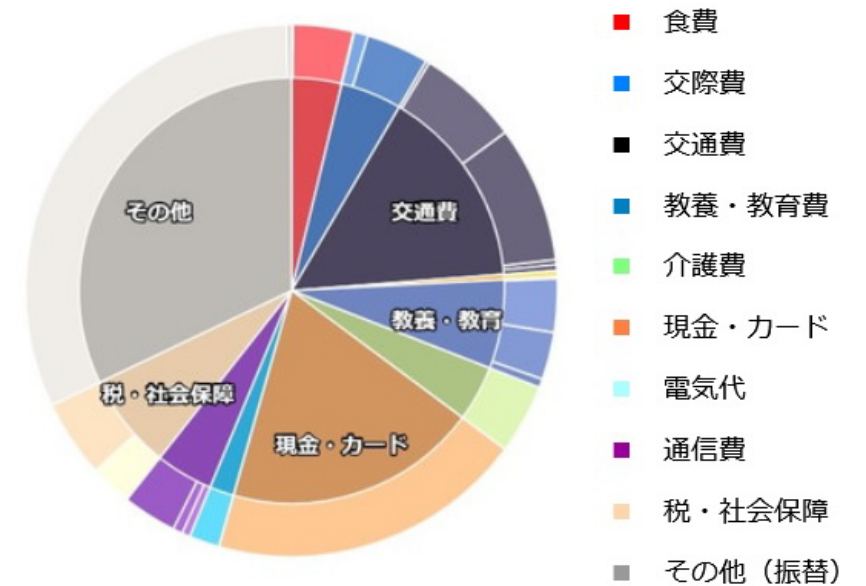


日本の三大弱点(2/3)

■(2)デジタル化の遅れ

OECD諸国から周回遅れ

- 1) 紙頼み, お上頼み
- 2) キャッシュレス化(26.8%)が進まない
- 3) 家計管理が困難

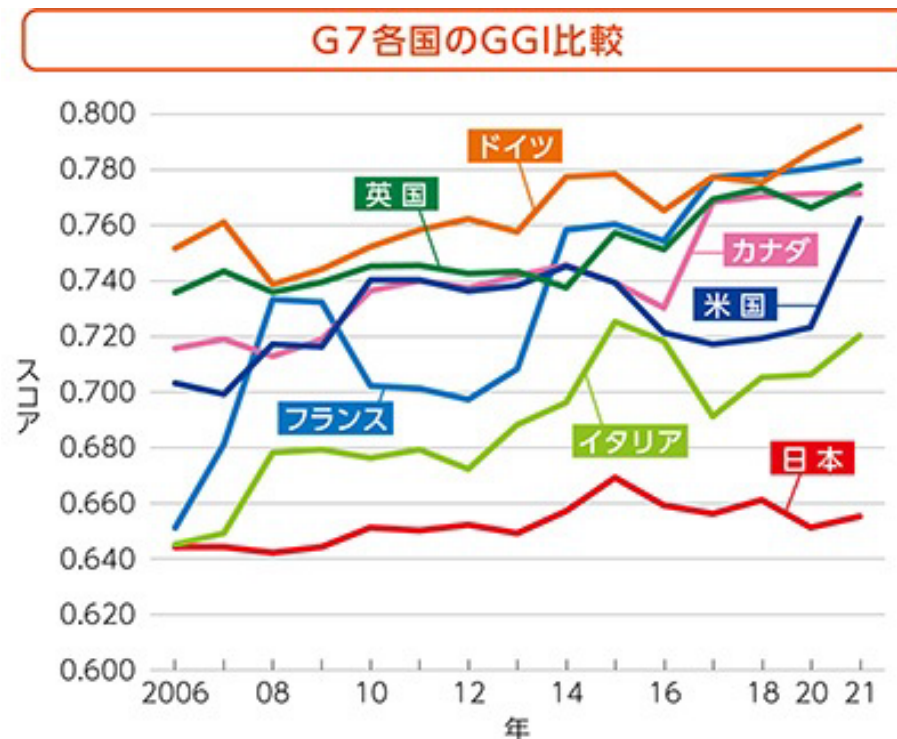


2022年8月分の家計簿の支出内訳

日本の三大弱点(3/3)

■(3)女性のリーダーの割合 OECD諸国の中で最低

- 1) 男性の家事時間の低さ
- 2) いまだに残る女男賃金格差
- アファマティブ・アクションの不徹底によるデジタル人材養成の遅れ



出典：男女共同参画局「共同参画」2021年5月号

3. 日本の三大弱点の解決を求めて

- 日本の三大弱点を克服するための福音の書:ルトガー・ブレグマン『隷属なき道—AIとの競争に勝つベーシックインカムと1日3時間労働』文藝春秋(2017)を読んで考える。
- NHKスペシャル取材班『ヒューマン—なぜヒトは人間になれたのか—』角川書店(2012/3/25)を読んで, 人間の本質である「分かち合う心」に立ち返る。
- 所得・労働時間・空間を分かち合う。
 - ベーシックインカム(Basic Income)の実施
 - 1日3時間労働の法定
 - 国境の開放(移民の受入れ)



ルトガー・ブレグマン『隷属なき道－AIとの競争に勝つベーシックインカムと1日3時間労働』文藝春秋(2017)を読む



- 第1章 過去最大の繁栄の中、最大の不幸に苦しむのはなぜか？
- 第2章 **福祉はいらない、直接お金を与えればいい**
- 第3章 貧困は個人のIQを13ポイントも低下させる
- 第4章 ニクソンの大いなる撤退
- 第5章 GDPの大いなる詐術
- 第6章 **ケインズが予測した週一五時間労働の時代**
- 第7章 優秀な人間が、銀行家ではなく研究者を選べば
- 第8章 **AIとの競争には勝てない**
 - 産業革命時代、織物工は蒸気機関に仕事を奪われた。そして今、AIとロボットが「中流」と呼ばれる人々の仕事を奪う。その結果、富の不均衡は極大化する。今こそ、時間と富の再分配、〔すなわち、〕労働時間短縮とベーシックインカムが必要だ。
- 第9章 **国境を開くことで富は増大する**
- 第10章 真実を見抜く一人の声が、集団の幻想を覚ます
- 終章 「負け犬の社会主義者」が忘れてしていること



NHKスペシャル取材班『ヒューマン—なぜヒトは人間になれたのか—』角川書店(2012/3/25)を読む



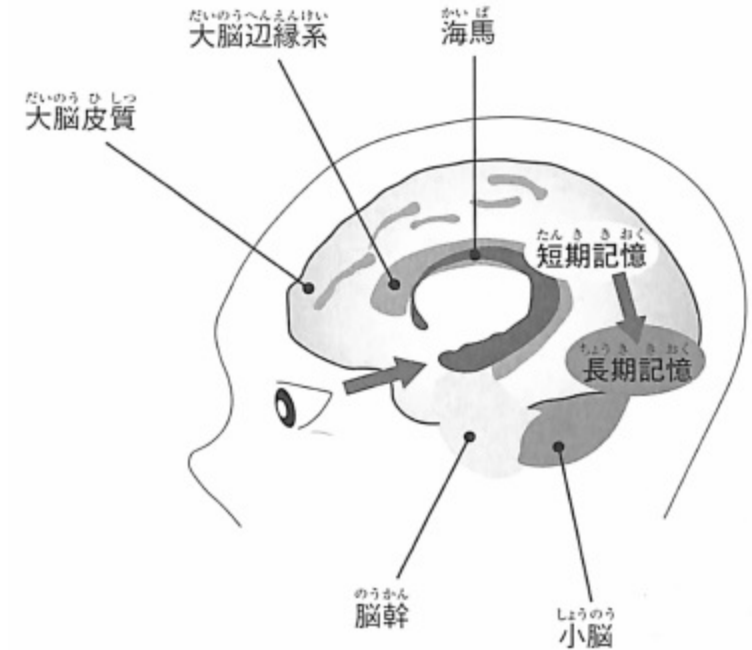
- はじめに 心—この不可思議なもの
- 第1章 協力する人・アフリカからの旅立ち—分かち合う心の進化
 - お皿にイチゴが山盛りになっていて、2歳の子どもの口に母親がイチゴを入れる。子どもは喜んで食べる。それだけではない。必ず子どもはイチゴを持って「お母さんにもあげる」といって、母親に対して同じことをする。
- 第2章 投げる人・グレートジャーニーの果てに—飛び道具というパンドラの箱
- 第3章 耕す人・農耕革命—未来を願う心
- 第4章 交換する人・そしてお金が生まれた—都市が生んだ欲望のゆくえ
- おわりに なぜいまヒューマンなのか



共感と復讐とを生み出す脳の仕組み

■ ミラー・ニューロン(共感する神経細胞)

- 霊長類等の高等動物の脳(大脳皮質の前頭葉の下前頭回)に備わったとても重要な機能を持つ神経細胞のこと。
- このミラー・ニューロンのお陰で、人は「不幸な人を見てもらい泣きをする」とか、「微笑みを微笑みで返す」とか、「プレゼントのお返しをする」など、人間関係を良い方向にもっていくことができる。
- その反面、ミラー・ニューロンのお陰で、人は、「やられたら、やり返す」という人間関係を悪くする方向に突き進むこともできる。



田淵俊彦=
NNNDキュメント取材班
『発達障害と少年犯罪』
新潮新書(2018/5/16)

所得・時間・空間を分かち合う — 地方からはじめよう —

1. 所得の公正な分配

- BI (Basic Income) の実施による。
 - 滞納者ゼロが実現される。[MMTという理論が裏付けとなる]

2. 時間の公正な分配

- 一日3時間労働の実施による。
 - 失業者ゼロが実現される。[あらゆる差別の廃止という考え方が支えとなる]

3. 空間の公正な分配

- 国境の開放(移民の受入れ)による。
 - 多様性の確保と格差の是正により、いじめゼロが実現される。[移民の歴史と移民に関するのデータ分析が裏付けとなる]



コロナ後の私の法的思考

SDGsと憲法の組合せ

■ SDGs前文

- 我々は、極端な貧困を含む、あらゆる形態と側面の貧困を撲滅することが最大の地球規模の課題であり、持続可能な開発のための不可欠な必要条件であると認識する。…我々はこの共同の旅路に乗り出すにあたり、誰一人取り残さないことを誓う。

■ 国・自治体の責務(その1:BI(Basic Income)を実施する責務)

■ 第25条【生存権】

- ①すべて国民は、健康で文化的な最低限度の生活を営む権利を有する。
- ②国は、すべての生活部面について、社会福祉、社会保障及び公衆衛生の向上及び増進に努めなければならない。

■ 国・自治体の責務(その2:国民の三大義務を支援する責務)

- 第26条【教育を受ける権利と受けさせる義務】
- 第27条【勤労の権利と義務、勤労条件の基準及び児童酷使の禁止】
- 第30条【納税の義務】



4. 今後の提言ー地方から始めようー

- 各会員が所属する自治体のDXの現状・課題・展望の調査
 - 自治体DXに関する予算規模・活動実態について総務課への問い合わせ
 - 図書館・資料館・博物館におけるDXの予算規模と活動
 - 教育委員会のDXに関する予算規模と活動
 - 産業育成関連部署のDXに関する予算規模と活動
 - カーボン・ニュートラル関連に関する予算規模と活動
 - 個人情報保護条例の改正の動向
 - 働き方改革の進捗状況，残業時間の実態，人件費の規模・割合
 - SDGs関連，特に，貧困対策への予算配分と活動
 - 留学生・外国人労働者等の受入れの実態



番外編

“Governance”の訳語「治理」をめぐって

- 現代日本では、外国語を国語に翻訳せずにカタカナで済ますことが多い。
 - “Governance”は、日本では、「コーポレート・ガバナンス」とか、「もっとガバナンスを効かさないとだめだ。」などのように、国語に翻訳せずに、カタカナ語で済ませている。
 - “Governance”を「統治」と訳す人もいるが、統治とすると、「万世一系ノ天皇之ヲ統治ス」(大日本帝国憲法第1条)を思い出す人が多く、専制的な雰囲気があるので、この訳後は、避けたい。
- 中国語では、“Governance”を「治理」ときちんと国語に翻訳されている。
 - 「治」: 治山・治水のように、制御、マネジメントを意味する。
 - 「理」: 整理・整頓のように、秩序正しいことを意味する。
 - 「治理」: 秩序正しく制御することを意味する。
- 日本語ではどのように訳すべきか。
 - “Governance”を中国語と同じように、“Management with (public) order”という意味で翻訳したい。
 - しかし、なかなか、良い熟語が見つからない。



参考文献

■ データサイエンス

- 河本薫『データ分析・AIを実務に活かす データドリブン思考』ダイヤモンド社 (2022/1/11)
- 近藤慧(前側将監修)『「BIツール」活用超入門 Google Data Portalではじめるデータ集計・分析・可視化』秀和システム(2021/12/1)
- 清水優吾『Microsoft Power BI入門ーBI使いになる！Excel脳からの脱却ー』翔泳社(2021/9/15)
- 中山浩太郎(監修)松尾豊(協力), 塚本邦尊=山田典一=大澤文孝『東京大学のデータサイエンティスト養成講座』ナインビ出版(2019/3/14)

■ 法

- 岡村久道『個人情報保護法の知識<第5版>』日経文庫(2021/7/16)
- 加賀山茂『求められる改正民法の教え方』信山社(2019/4/15)
- 城所岩生『フェアユースは経済を救うーデジタル覇権戦争に負けない著作権法』インプレス(2016/12/6)
- 城所岩生=中山信弘他『これでいいのか！2018年著作権法改正』インプレスR&D(2019/4/2)
- 福岡真之介=桑田寛史=料屋恵美『IoT・AIの法律と戦略』〔第2版〕商事法務(2019/3/30)

■ 経営

- 舘岡康雄『利他性の経済学ー支援が必然となる時代へー』新曜社(2006/4/1)
- L・ランダル・レイ(中野 剛志=松尾 匡・解説, 島倉原=鈴木 正徳・訳)『MMT現代貨幣理論入門』東洋経済新報社(2019/8/30)
- 原泰史『Pythonによる経済・経営分析のためのデータサイエンスー分析の基礎から因果分析までー』東京図書(2021/2/25)

■ デジタルマネー

- 野口悠紀雄『データエコノミー入門ー激変するマネー, 銀行, 企業』PHP新書(2021/10/28)
- 宮沢和正『ソラミツ世界初の中銀デジタル通貨「バコン」を実現したスタートアップー日本発のブロックチェーンで世界を変えるー』日経BP(2020/12/21)

